



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月4日

上場取引所 東

上場会社名 寿スピリッツ株式会社

コード番号 2222 URL <http://www.kotobukispirits.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河越 誠剛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画部部長 (氏名) 松本 真司

TEL 0859-22-7477

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	12,110	11.2	1,280	79.8	1,305	81.0	966	134.0
27年3月期第2四半期	10,889	0.6	712	△19.7	721	△19.7	412	△16.2

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 967百万円 (126.1%) 27年3月期第2四半期 428百万円 (△12.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	93.14	—
27年3月期第2四半期	39.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	14,932	9,473	63.4	913.29
27年3月期	14,695	8,979	61.1	865.60

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 9,473百万円 27年3月期 8,979百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,560	6.9	2,675	31.5	2,700	30.5	1,870	43.3	180.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	10,373,840 株	27年3月期	10,373,840 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	511 株	27年3月期	473 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	10,373,345 株	27年3月期2Q	10,373,376 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、インバウンド（訪日外国人旅行者）の増加の勢いは依然として力強く推移し、また、消費マインドは消費税増税の影響が一巡し、持ち直しの兆しが見られます。一方で企業間競争の激化や原材料価格の高止まりなどコスト増加が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

このような状況のもと、当社グループは『WSR』＝『ワールド サプライジング リゾート宣言』（世界へ、ありあえないほどの驚きの、超感動を提供する）を経営スローガンとして掲げ、マーケット特性にマッチしたプレミアム・スイーツの提供、売場・接客サービスの向上、イベント・キャンペーン展開の推進などに取り組んでまいりました。また、当面の重点施策として首都圏エリアでのWSR展開の推進、インバウンド対策の強化、アジアを中心とした海外における事業モデルの構築などに注力いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、消費税増税の影響の一巡や6年ぶりとなる9月のシルバーウィークなど外部環境の改善傾向も追い風になり、積極的な事業施策の遂行により12,110百万円（前年同期比11.2%増）となりました。利益面におきましても、増収効果に加え、製造採算の改善や経費の効率的使用に努めたことにより営業利益は1,280百万円（前年同期比79.8%増）、経常利益は1,305百万円（前年同期比81.0%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は経常利益の増益に加え、税務上の繰越欠損金にかかる繰延税金資産の追加計上により税金費用が減少したことにより966百万円（前年同期比134.0%増）となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、重要性が増した台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めております。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① ケイシイシイ

「ルタオ」を擁するケイシイシイは、リニューアルした主力商品「ドゥーブルフロマージュ」のキャンペーン展開の推進、新千歳空港をはじめとする道内卸展開の強化などに注力いたしました。また、海外展開では、本年4月に韓国のパートナー企業とライセンス契約を締結し、ソウル・江南エリアにルタオ1号店がオープンいたしました。その結果、売上高は、3,899百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は352百万円（前年同期比23.5%増）となりました。

② 寿製菓

寿製菓は、山陰地区が、出雲大社の遷宮効果の反動減の影響は一巡したものの依然として低調に推移いたしました。一方、「ラングドシャ」や「フィナンシェ」など焼き菓子系商品を中心に代理店及びグループ会社向け売上が堅調に推移した結果、売上高は4,285百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は391百万円（前年同期比38.2%増）となりました。

③ 販売子会社

販売子会社は、駅・空港・SAなどの交通拠点チャンネルを中心に、主力商品及び新商品の売場獲得などに注力いたしました。主要地域では、関西地区が関西国際空港での販売強化などにより増収となったほか、福岡地区においても、前期投入の新商品「まっかな苺のラングドシャ」の拡販強化が寄与し堅調に推移しました。その結果、売上高は2,468百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益は174百万円（前年同期比82.0%増）となりました。

④ 九十九島グループ

九十九島グループは、3年目を迎えたフレンチトースト専門店「Ivorish（アイボリッシュ）」の認知度拡大に注力いたしました。業績面では、佐世保ハウステンボス地区の売上が堅調に推移したことなどにより、売上高は1,694百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益は49百万円（前年同期比120.8%増）となりました。

⑤ 但馬寿

但馬寿は、地元営業（但馬地域）及び通信販売に注力いたしました。その結果、売上高は535百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は18百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

⑥ シュクレイ

首都圏において5ブランド16店舗の小売展開及び卸展開のシュクレイは、「ザ・メープルマニア」をはじめとする各ブランド訴求力の向上を図るため、イベントによる店頭販促の充実、催事の推進、接客力の強化などに努め、好調に推移しました。その結果、売上高は、1,780百万円（前年同期比38.3%増）となり、営業利益は185百万円（前年同期比252.1%増）となりました。

⑦ その他

その他は、損害保険代理業、健康食品事業、海外（台湾）における菓子事業が含まれております。第1四半期連結会計期間より台湾北壽心股份有限公司を連結の範囲に含めたことにより、売上高は101百万円（前年同期比557.2%増）となり、営業損失は28百万円（前年同期は営業損失36百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,932百万円となり、前連結会計年度末と比べ237百万円増加いたしました。主な要因は、受取手形及び売掛金の増加(245百万円)、商品及び製品の増加(77百万円)及び現金及び預金の減少(142百万円)などの要因によるものです。

負債は、5,459百万円となり、前連結会計年度末と比べ256百万円減少いたしました。主な要因は、流動負債における未払法人税等の増加(227百万円)、短期借入金の減少(300百万円)、その他の減少(246百万円)などの要因によるものです。

純資産は、9,473百万円となり、前連結会計年度末に比べ494百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加(966百万円)、配当金の支払いによる減少(414百万円)などによるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ2.3ポイント増加し、63.4%となり、1株当たり純資産は913円29銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)残高は、前連結会計年度末に比べ142百万円減少し、2,413百万円(前年同期比15.2%増)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、994百万円(前年同期比72.3%増)となりました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益1,295百万円、減価償却費の計上315百万円の計上があった一方、法人税等の支払243百万円、売上債権の増加額241百万円などの減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、341百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

主な要因は、有形固定資産の取得による支出260百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、879百万円(前年同期比41.8%増)となりました。

主な要因は、配当金の支払414百万円及び短期借入金の純減少額300百万円などの減少要因によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想に関しましては、平成27年10月26日公表数字(「業績予想の修正に関するお知らせ」)からの変更はありません。なお下期の業績見通しは、事業環境は依然として先行き不透明なため、期初計画を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前当期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業活動に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組換えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,755,418	2,613,336
受取手形及び売掛金	2,337,691	2,582,768
商品及び製品	639,392	716,990
仕掛品	32,110	38,036
原材料及び貯蔵品	353,414	362,069
その他	510,800	522,479
貸倒引当金	△22,665	△31,208
流動資産合計	6,606,160	6,804,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,091,537	3,058,114
機械装置及び運搬具(純額)	847,733	852,770
工具、器具及び備品(純額)	247,631	251,363
土地	2,500,667	2,500,667
リース資産(純額)	6,475	13,052
建設仮勘定	11,385	48,248
有形固定資産合計	6,705,428	6,724,214
無形固定資産	102,565	129,086
投資その他の資産		
その他	1,297,908	1,291,298
貸倒引当金	△17,044	△16,217
投資その他の資産合計	1,280,864	1,275,081
固定資産合計	8,088,857	8,128,381
資産合計	14,695,017	14,932,851
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	807,578	979,997
短期借入金	1,450,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	258,672	184,826
未払法人税等	241,871	469,359
賞与引当金	441,723	475,898
その他	1,059,689	813,544
流動負債合計	4,259,533	4,073,624
固定負債		
長期借入金	316,513	236,705
退職給付に係る負債	920,639	941,702
その他	219,136	206,977
固定負債合計	1,456,288	1,385,384
負債合計	5,715,821	5,459,008

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,217,800	1,217,800
資本剰余金	1,323,161	1,323,161
利益剰余金	6,378,767	6,872,020
自己株式	△543	△672
株主資本合計	8,919,185	9,412,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,011	60,102
為替換算調整勘定	—	1,432
その他の包括利益累計額合計	60,011	61,534
純資産合計	8,979,196	9,473,843
負債純資産合計	14,695,017	14,932,851

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	10,889,697	12,110,660
売上原価	5,270,377	5,574,250
売上総利益	5,619,320	6,536,410
販売費及び一般管理費	4,907,205	5,255,946
営業利益	712,115	1,280,464
営業外収益		
受取利息	174	266
受取配当金	2,087	2,311
受取地代家賃	8,023	9,147
受取補償金	—	7,581
その他	18,114	17,784
営業外収益合計	28,398	37,089
営業外費用		
支払利息	11,310	7,108
その他	7,618	4,507
営業外費用合計	18,928	11,615
経常利益	721,585	1,305,938
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,809
固定資産売却益	—	525
特別利益合計	—	2,334
特別損失		
固定資産売却損	—	2,144
固定資産除却損	5,881	10,196
減損損失	11,513	—
特別損失合計	17,394	12,340
税金等調整前四半期純利益	704,191	1,295,932
法人税等	291,211	329,725
四半期純利益	412,980	966,207
親会社株主に帰属する四半期純利益	412,980	966,207

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	412,980	966,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,032	91
為替換算調整勘定	—	1,432
その他の包括利益合計	15,032	1,523
四半期包括利益	428,012	967,730
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	428,012	967,730

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	704,191	1,295,932
減価償却費	302,307	315,047
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1,809
減損損失	11,513	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,154	7,716
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32,780	34,175
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	28,893	21,063
受取利息及び受取配当金	△2,261	△2,577
支払利息	11,310	7,108
固定資産売却損益 (△は益)	—	1,619
固定資産除却損	5,881	10,196
受取補償金	—	△7,581
売上債権の増減額 (△は増加)	230,964	△241,424
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△75,620	△90,968
仕入債務の増減額 (△は減少)	63,854	165,013
その他	△49,867	△278,241
小計	1,265,099	1,235,269
利息及び配当金の受取額	1,752	2,548
利息の支払額	△11,101	△6,760
補償金の受取額	—	7,581
法人税等の支払額	△678,524	△243,988
営業活動によるキャッシュ・フロー	577,226	994,650
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△501	△3
投資有価証券の売却による収入	—	2,745
有形固定資産の取得による支出	△320,785	△260,267
有形固定資産の売却による収入	—	2,047
無形固定資産の取得による支出	△20,625	△43,960
出資金の回収による収入	191	538
敷金及び保証金の差入による支出	△14,192	△36,444
敷金及び保証金の回収による収入	2,724	20,087
その他	224	△26,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352,964	△341,284
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△300,000
長期借入金の返済による支出	△190,814	△153,654
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,678	△3,298
自己株式の取得による支出	△122	△129
配当金の支払額	△414,937	△414,935
その他	△7,500	△7,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△620,051	△879,516
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△3,603
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△395,789	△229,753
現金及び現金同等物の期首残高	2,490,554	2,555,418
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	87,671
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,094,765	2,413,336

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,244,297	2,560,813	2,215,264	1,432,030	135,606	1,287,301	10,875,311
セグメント間の内部 売上高又は振替高	443,742	1,289,555	2,033	143,171	394,215	—	2,272,716
計	3,688,039	3,850,368	2,217,297	1,575,201	529,821	1,287,301	13,148,027
セグメント利益 (△は損失)	285,111	283,225	95,951	22,236	26,720	52,710	765,953

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	14,386	10,889,697	—	10,889,697
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,068	2,273,784	△2,273,784	—
計	15,454	13,163,481	△2,273,784	10,889,697
セグメント利益 (△は損失)	△36,754	729,199	△17,084	712,115

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに通販基幹業務システムサービス事業が含まれております。

2. セグメント利益(△は損失)の調整額△17,084千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額307,324千円、セグメント間取引消去額8,831千円、たな卸資産の調整額△6,092千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△327,147千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。

3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「シュクレイ」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことにより、回収可能性が認められなくなった事業資産に係る減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は11,513千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						
	ケイシー シー	寿製菓	販売子会社	九十九島 グループ	但馬寿	シュクレイ	計
売上高							
外部顧客への売上高	3,407,788	2,703,184	2,466,302	1,511,030	140,891	1,780,891	12,010,086
セグメント間の内部 売上高又は振替高	491,690	1,582,515	2,235	183,462	394,309	—	2,654,211
計	3,899,478	4,285,699	2,468,537	1,694,492	535,200	1,780,891	14,664,297
セグメント利益 (△は損失)	352,166	391,432	174,656	49,108	18,531	185,599	1,171,492

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額(注)3
売上高				
外部顧客への売上高	100,574	12,110,660	—	12,110,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	989	2,655,200	△2,655,200	—
計	101,563	14,765,860	△2,655,200	12,110,660
セグメント利益 (△は損失)	△28,294	1,143,198	137,266	1,280,464

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理業及び健康食品事業並びに海外(台湾)における菓子事業が含まれております。また、台湾北壽心股份有限公司は重要性が増したことから第1四半期連結会計期間から連結の範囲に含め、「その他」に加えております。
2. セグメント利益(△は損失)の調整額137,266千円は、当社とセグメントとの内部取引消去額443,107千円、セグメント間取引消去額8,152千円、たな卸資産の調整額△15,015千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△298,978千円であります。全社費用は、主に提出会社におけるグループ管理に係る費用であります。
3. セグメント利益(△は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。